

1 長野県の概要

(1) 長野県の概要

◆ 位置・地勢

長野県は本州のほぼ中央に位置し、東西に約 120km、南北に約 212km で南北に長く、総面積は 13,562km² で全国第4位の広さとなっています。

また、本県は槍ヶ岳を有する北アルプスや南アルプス等、四方を諸山脈で囲まれ、諸河川の源をなしており、天竜川、木曾川は南に流れて太平洋に注ぎ、千曲川、犀川は合流して信濃川となって北に流れて日本海に注いでいます。

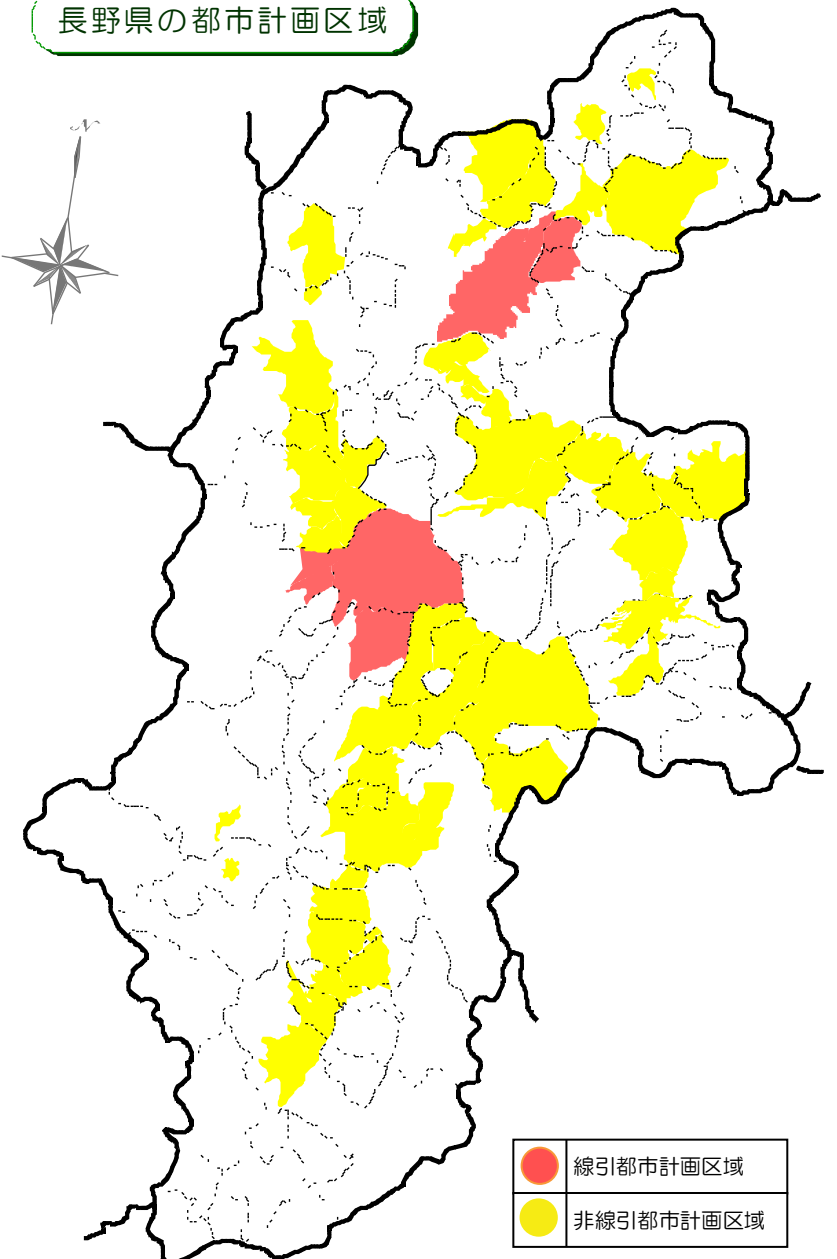
県内の平地は、これらの諸河川に沿っておよそ6地方に分かれています。千曲川流域は佐久平と善光寺平、犀川流域は松本平、木曾川流域は木曾谷、天竜川流域は伊那谷、諏訪湖を中心とする諏訪盆地等で、それぞれが独特の歴史と文化を持った地域社会を形成しています。

◆ 都市の現況

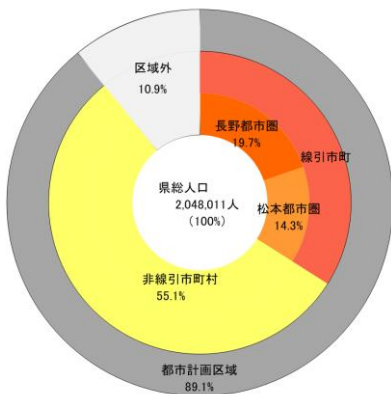
県下では昭和2年に長野市、松本市に都市計画区域が指定されて以来、指定区域は順次拡大し、現在では県内の主要都市の大部分である19市25町村（39都市計画区域）において指定がされています。

令和5年3月31日現在、都市計画区域の県全体に占める割合は、面積で26.6%、人口で89.1%（対R2国調人口比）となっています。

長野県の都市計画区域



人口に占める都市計画区域内人口



(人口は令和2年10月1日現在)